

2017年度(平成29年度)学校評価自己評価表

城東中学校区	校番 5	福山市立城東中学校
最終更新日		2017年(平成29年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
---

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>可能な限り、中学校区で統一した目標・取組・指標を取り入れて、9年間を見据えた系統的な児童・生徒の育成を進めていく。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>根拠を明確にして、自分の考えをまとめたり表現したりすることが不十分である。</p> <p>個人差はあるが、概ね自己有用感、自己肯定感が低い傾向にある。</p>	<p>育成する力 (21世紀“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を見つけ、解決の道筋を見いだす力 &lt;課題発見・解決力&gt;</li> <li>○根拠をもって相手を説得する力 &lt;論理的思考力・表現力&gt;</li> </ul> <p>倫理観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自他を認め合い思いやる態度 &lt;協働性&gt;</li> <li>○自らの行動を律し、高まろうとする態度 &lt;自己指導力&gt;</li> </ul> <p>目標を定める子 ねばり強く学ぶ子 自らを律し行動する子</p> <p>校区スタンダードで目指す児童・生徒の姿(達成基準)を系統的に4つのステージで捉え、校区で統一した取組を進め、共通の指標で評価していく。</p> <p>自ら考え学ぶ授業改善の実現に向けて、校区全体で児童・生徒に育むスキルと倫理観を明確にする。系統的指導のあり方を協議の柱として、校区授業研究を活性化する。</p>
---	---	---	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>知徳体の基礎基本を身につけ、自己と郷土の豊かな将来を創造する生徒を育てる。</p>					
<p>学校教育目標</p> <p>知・徳・体の調和のとれた生徒の育成</p>					
<p>現状</p> <p>&lt;生徒&gt;</p> <p>体育大会、文化祭、3年生の卒業論文「証」の発表会等の生徒の活動を通して、上級生がリーダーとなって、「一生懸命がカッコイイ」姿を見せることで下級生を育てる校風が定着している。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>授業開始2分前着席と校区全小中学校で統一した、授業初めの立腰・黙想が定着しスムーズに授業が開始できるようになった。生徒の学習意欲が高まる「めあて」を明確にし、授業の「まとめ」「振り返り」によって、1時間の学習の達成感が実感できる授業が増えてきた。</p> <p>生徒同士が考えを交流し、考えを深めたり広めたりする場面の設定も増えてきた。しかし、知識の習得重視の授業もある。</p>	<p>育成する力 (21世紀“スキル&amp;倫理観”)</p>	<p>課題発見・解決力</p>	<p>論理的思考力・表現力</p>	<p>協働性</p>	<p>自己指導力</p>
	<p>めざす子ども像</p>	<p>1年生</p> <p>課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。</p>	<p>自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを、説明することができる。</p>	<p>相手意識を持ち、積極的に人間関係築こうとしている。</p>	<p>様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやりとげようとしている。</p> <p>自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を創り上げようとしている。</p>
	<p>2・3年生</p> <p>課題を見つけ、思考・判断した過程や結果を見通しながら、集団で解決しようとしている。</p>	<p>複数の意見の相違点を踏まえて、より良い考えを創り出し、根拠を明らかにして、分かりやすく説明することができる。</p>	<p>相手意識を持ち、積極的に人間関係を築き、より良く生きようとしている。</p>		
	<p>研究</p>	<p>教科等</p> <p>道徳</p>	<p>深く考え伝え合い、よりよく生きようとする力を育む授業の創造～言語活動の充実により自分の考えを表現できる指導の工夫～</p>		
	<p>めざす授業の姿</p>	<p>○生徒の学習意欲が高まるよう「めあて」を明確にし理解させ、めあてにもどった振り返りが自分の言葉で書いたり、発表できる。</p> <p>○自分の考えを深め、相手・目的・内容に応じて分かりやすく説明できる。</p>			

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立城東中学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	力ゼン評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力ゼン評価	達成評価	総合評価
1	自ら考え学ぶ授業づくりの推進	★	見直	「考えを伝え合う」授業改善を通して「わかる授業」の創造	○授業の終わりに「めあて」に対する「まとめ」と「振り返り」の確実実施	○「まとめ」「振り返り」を行っている授業を80%以上 ○授業が分かりやすいという生徒85%以上 ○基礎基本、全国学力調査が県平均以上	□生徒アンケート 87% □生徒アンケート 93%	4	4	・「めあて」に対応した「まとめ」や「振り返り」を自分の言葉で書かせ、他者へ発信させる。 ・授業研究を全員実施する。				
				○学習規律(2分前着席、立腰・黙想、返事、起立、座る、挙手)を徹底させた授業	○通過率30%未満 基礎基本：5%以下 定期試験：10%以下	□「基礎・基本」定着状況調査 国語 67.6(-1.6) 数学 68.9(+2.0) 理科 64.0(+13.2) 英語 71.2(-1.2) □全国学力・学習状況調査 国語 A80(+3) 国語 B74(+2) 数学 A64(O) 数学 B48(O)	□通過率 30%未満 基礎基本：8.7% 定期試験：11% □生徒アンケート 95%			・定期試験発表中に試験に関わる問題を使い学力補充を行う。 ・2分前着席の指導を継続する。				
			新規	家庭学習の定着	○自主学习ノートを活用した家庭学習指導	○自主学习ノートを活用して家庭学習した生徒90%	□生徒アンケート 79%	3	3	・提出率を学級ごとに評価する。 ・他学年同士で自主学习ノートを交流し、評価し合う。				

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
1	城東校区三訓 「時を守り、 場を清め、礼 を正す」の定着	★	新規	自己指導力の向上	○校区スタンダード(時間, 掃除, あいさつ)の強化週間実施	○校区達成レベル3以上の生徒80%以上	□生徒アンケート 時間 66% 掃除 47% あいさつ 61%	3	2	・全教室に掲示をして意識させる。				
		★	継続	道徳教育の充実	○道徳授業「城東スタイル」の改善	○道徳生徒アンケート肯定的評価80%以上	□生徒アンケート 86%	3	3	・多様な考えが出せるように中心発問を工夫する。				
		★	継続	協働性の育成	○協働して取り組む学級・班づくり	○班・学級・学校満足度80%以上	□生徒アンケート満足度 ・班 87% ・学級 81% ・学校 82%	3	3	・模擬学活による学級・班づくりの研修を行う。 ・学活交流による学級・班づくりの実践				
1	主体的に取り 組む体力づくりの推進		見直	体力・運動能力の向上	○新体カテストの項目に関する運動を授業に取り入れる ○部活動優先日を毎月設定	○自己目標達成生徒80%以上  ○部活動に積極参加生徒80%以上	□生徒アンケート 82%	4	4	・体育の授業や部活動で補強運動を充実させる。 ・教員が付いての指導の充実を図る。				
			継続	健康教育・食育の推進	○保健だよりで健康・食育の啓発	○食事の準備や片付けを行っている生徒80%以上	□生徒アンケート 64%	3	3	・保健だよりを活用する。				
2	保護者・地域に信頼される学校づくりの推進		継続	学校の公開と情報発信	○学校・学年だよりの発行, HPの定期的更新	○保護者学校満足度90%以上	□保護者アンケート(城東中に行かせてよかった)93%	4	4	・学校HPの全面リニューアルと定期的な更新を行う。				